

第178回 令和8年2月18日（水）

## 「偶然はどのようにあなたをつくるのか」

年末年始に溜まっていた本を読みました。（それ以上にまた買ってしまいました…）  
一番面白かったのがブライアンクラーズの「偶然はどのようにあなたをつくるのか」でした。

カオス理論をわかりやすく説明しています。あなたが将来どのような職業について、どのような家庭を築いてどのような一生を送るのか。収束論で考えると「ある程度あらかじめ決まっている」ということになります。多少選択を変えたとしても結局は同じような形に収束する。言い方を変えると運命論のようなものです。

一方カオス理論は違います。あらゆるところに偶然がちりばめられていて、結局人間はすべて偶然で生きているという考え方です。

確かに樹系図で先祖をたどった時、結局同じ生物にいきつくと思いますが、その生物が生き残って進化したのは本当に偶然の産物です。ご先祖様がどこかで出会わないで違う選択をしていたらあなたはここにいないかもしれないわけです。

ネタバレになるから一つだけエピソードを紹介すると、アメリカの原爆投下目標には京都が含まれていたが、外された理由は偶然京都を旅行した将校がその美しさに惹かれて強硬に反対したから。また小倉に原爆が投下されなかったのは雲が邪魔をしたからで、長崎では偶然雲の切れ間ができたということでした。

あなたがこれからすることで自分にとって失敗や無駄と思えることはたくさんあるかもしれませんが、でもそれがたくさんの偶然につながっていき、色々な結果につながります。そう考えれば無駄なことなど一つもないわけです。

分厚くて読みごたえ十分なのは「全人類の教養大全」。0巻、1巻、2巻の3冊あってすごい分量ですが、読みやすくわかりやすいので哲学や社会学の入門書として最適です。考え方をいくつかこのブログでも紹介しています。

息抜きに「殺し屋の営業術」とか京極夏彦の「猿」も読みました。（どちらも1日あれば読めてしまいます。京極作品にしては珍しく。）

読書は大好きなのですが年末の健康診断で目が悪くなっていてビックリ。何とコンタクトを外したら一番大きな輪が全く見えず「0.1もありません」と言われてしまいました。みなさん、目は大事にしてくださいね。